

2017年1月4日
SMBC日興証券株式会社年頭所感 清水喜彦代表取締役社長発言要旨

明けましておめでとうございます。本年は曜日の並びの関係で短い年末年始休暇となりましたが、役社員の皆さまにおかれましては、また新たな気持ちで新年を迎えられたことと思います。本年も、皆さまと健やかに新年をお祝いできますこと、大変嬉しく思っています。

昨年を振り返りますと、正月早々に中国のサーキットブレーカー制度が発動し、その後は日銀のマイナス金利政策や英国の EU 離脱、年後半にはアメリカ大統領選等の影響もあり、一年を通して予測困難な市場環境が続きました。皆さまには、厳しい業務環境の中、それぞれの持ち場でご奮闘いただき、改めて感謝しております。

さて、諸説ありますが、今年の干支の「酉(とり)」という漢字は、酒つぼを意味し、収穫した果実からお酒を作る行為や、果実が完熟した状態を表していると言われております。皆さまが昨年努力して得た成果が完熟し、銘酒となって熟成を迎える年になるよう、本年も引き続き、ご活躍をお願いしたいと思っております。

4月からは、新たな中期経営計画の初年度が始まります。また、少々気の早い話になりますが、来年1月には SMBC フレンド証券との統合を予定しており、当社にとって、本年は、来期以降の発展に向けた重要な年となります。昨年来お伝えしておりますが、今後、当社の力に SMBC フレンド証券の力を合わせ「本邦 No.1 の総合証券会社」となり、三井住友銀行とともに SMFG のツインターボエンジンとしてグループ発展の原動力の一翼を担う存在になっていきたいと考えています。

皆さまにとって、また当社にとっても、素晴らしい一年になりますよう、役社員一同、力を合わせて頑張ってみましょう。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

以上